

にれ



校訓

- 明るい子ども
- 考える子ども
- がんばる子ども

下川町立下川小学校

学校便り

第 1 号

令和 4 年 4 月 6 日発行

新年度のスタートにあたって

校長 井川 健

この下川の地にも柔らかな日差しが降り注ぎ、春を肌で感じる季節を迎えました。保護者・地域の皆様には、日頃より様々な形でご支援をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

4月6日（水）には着任式、始業式、そして入学式が行われました。初々しい1年生18名を迎え、全校児童117名、転入教職員3名、新規町任用職員2名が加わり、教職員及び学校スタッフ（町任用職員及び兼務職員）総勢29名で下川小学校の令和4年度がスタートしました。



今年度も、学校・家庭・地域が連携の絆を一層深め、共に知恵を出し、汗をかくことで、子どもたちの夢や希望、目標にしっかりとした根を育てていきたいと思えます。どうぞ皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

今年度の重点目標：「自分の居場所と学びを実感する子」～どの子にも『笑顔』と『自信』を～

※以下、学校経営方針のダイジェストです。裏面には本校の教育のグランドデザインを示しております。

◎特別支援教育と不登校（登校渋り）支援が充実した学校

- 児童の実態にマッチした指導体制の工夫
- 特別支援コーディネーター機能の円滑推進
- ユニバーサルデザインを活用した学級設営等によるインクルーシブ教育の拡充

◎学力の向上を本気で目指す学校

- 指導体制を工夫して、どの子にも算数の基礎が身に付く教育
- 学びの広場と隙間時間学習の継続
- ICT活用の推進（まずは、教師側の技能・力量アップを）

◎安心安全な学校

- 新型コロナウイルス（オミクロン株等）の警戒
- 危機管理マニュアルの整備

◎ウェルカムな学校

- 地域の人や保護者が足を運びやすい学校
- 保護者アンケートや児童アンケートを具体的に改善に生かす学校

◎教職員にとって、やりがいのある学校

- 働き方改革の推進
- 幼・小・中・高との連携と若手教職員の育成
- 子どもに有益な教育課程を創造する集団
- 「下川学的な学習」である「生活・総合・3、4年社会」の教育課程整備



～ 令和 4 年度 下川小学校職員 ～

校長	井川 健	教頭★	佐藤 仁彦	教務主任	尾崎 智行
1年1組	久保田 基文	2年1組	中谷 愛	3年1組	大西 克典
4年1組	松尾 裕之	5年1組	若井 旭	6年1組	佐竹 秀平
特別支援★	伊藤 元太	特別支援	中嶋 崇喜	特別支援★	小倉 三桜雪
特支フリー	奥山 大河	特支CO	高橋 亜紀子	特支Vco	水口 愛弓
算数T・T	木村 叶実	養護教諭	佐々木 浩美	栄養教諭	松田 彩花
事務主幹	伊藤 敏光	公務補	小坂 喜永	相談員	黒川 美和
支援員	末武 久恵	支援員☆	松原 和	事務補助	野原 亜希子
学びCO	本間 莉恵	協働活動推進員☆	田中 由紀子	ICT支援員	未定
ALT	アニー・ウィリアムズ	スクールサポートスタッフ	山下 節子	スクールサポートスタッフ	潮田 俊子

※ ★については今年度着任した教職員、☆は新たな町任用職員（兼務含）等になります。

※ CO…コーディネーター、T・T…チーム・ティーチング、ALT…英語指導助手、ICT…情報通信技術

令和4年度 下川小学校の教育

【本校教育の指針】

- ・日本国憲法・教育基本法・学校教育法
- ・学校教育施行規則・学習指導要領
- ・北海道教育推進計画
- ・上川教育推進の重点
- ・下川町総合教育大綱・教育行政方針
- 「個性・可能性・魅力を伸ばすづくり」

〈子どもの実態〉

- ・仲間と協力して取り組むことができる
- ・記述力が確実に向上してきている。
- ・学力や体力の個人差が大きい
- ・家庭学習(読書)には課題が残る

〈家庭・地域の実態〉

- ・保護者が学校やPTA活動に協力的である
- ・地域全体で子どもを育む体制(雰囲気)が確立している

〈教職員の願い:子どもへつきたい力〉

- ・自主性、主体性、自立力、工夫する力
- ・思いやり、相手意識、自己有用感
- ・自己選択・決定力、チャレンジ精神
- ・読書力、記述力、発表力、情報活用能力
- ・基礎体力、計画力、やり抜く力

〈保護者・地域の期待:子どもへつきたい力〉

- ・基礎学力、読書力
- ・自主性、創造力、発想力、対応能力
- ・豊かな心、郷土愛、自然愛、挨拶・礼儀

【学校教育目標】

「今を確かに生き、未来にはばたく子どもを育てる」

〈校訓〉 ○考える子ども (知)
○明るい子ども (徳)
○がんばる子ども (体)

【経営の基本方針】

「共に汗を」

【年度の重点】

「自分の居場所と学びを実感する子」

～どの子にも「笑顔」と「自信」を！～

【目指す学校像】

○子どもにとって「学びがいのある学校」

- ・「わかる・できる・生かせる喜びや感動」を実感することのできる学校
- ・自分や友達の成長がわかり、自信を深めることのできる学校
- ・友達と共に学び、人とのつながりが実感できる学校

○教員にとって「働きがいのある学校」

- ・深い愛情をもって子どもの成長にかかわり、その成長を喜び合える学校
- ・共に認め合い、支え合い、高め合い、実践的指導力を向上できる学校
- ・チーム貢献力を発揮し、学校課題や重点方針に向け積極的に挑戦する組織的な学校




○保護者にとって「頼りがいのある学校」

- ・子どもの変容を実感できる学校
- ・共に語り、共に悩み、共に取り組める学校
- ・安心して子どもを任せられる学校

○地域にとって「親しみのある学校」

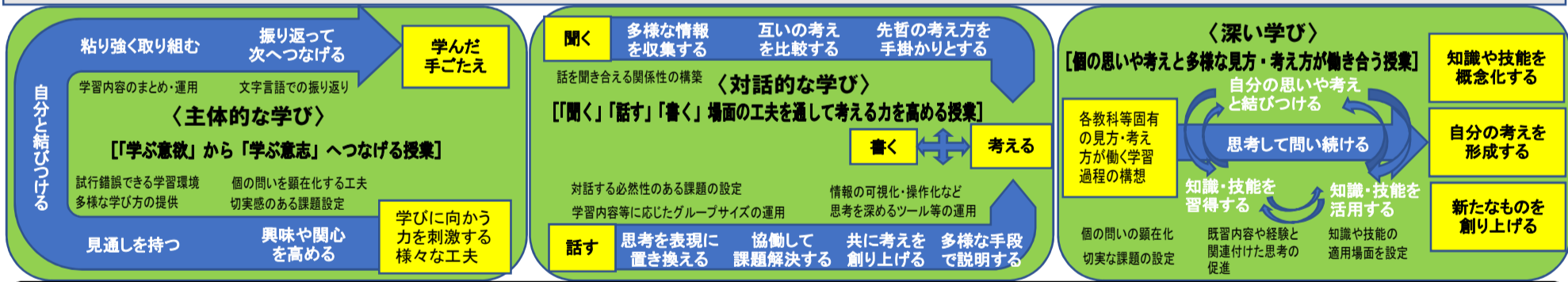
- ・子どもの学びや成長の様子をわかりやすく地域に発信する学校
- ・地域の素材や人材など教育環境を有効活用し、地域に学ぶ学校
- ・学校運営協議会をはじめ、地域との連携を深め、地域と共にある学校

「生きる力」の育成

	考える子ども (知)	明るい子ども (徳)	がんばる子ども (体)
知識・技能の習得 生きて働く	<p>○学び方(学習規律、話し方・聞き方、学習の進め方)を身につける子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的、基本的となる知識、技能を習得する ・ICTなどを活用して、収集した情報を整理、選択し活用することができる ・情報と情報との関係について理解することができる 	<p>○自分や他者のよさに気づく子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自他のよさを認め、協力することができる ・時や場、相手に応じた挨拶や返事ができる 	<p>○いろいろな運動に親しみ、技能を身につける子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・早寝、早起き、朝ご飯を意識した規則正しい生活習慣を身に付ける ●運動することのよさを実感し、運動技能を高める <p style="text-align: right;">← R4年度の重点</p>
思考力・判断力・表現力等の育成 未知の状況に対応できる	<p>○自分の考えを持って粘り強く取り組む子</p> <ul style="list-style-type: none"> ●相手のとのつながりを意識して話し合うことができる ・ICT※Iや資料などを使い、考えが伝わるように表現することができる ・互いの立場や意図を明確にして計画的に話し合い、考えを広げることができる <p style="text-align: right;">← R4年度の重点</p>	<p>○自分の行動を振り返って考える子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思いや考えを根拠をもって伝えることができる ・誰に対しても思いやりをもち、協力することができる 	<p>○自分の健康・安全や体力の向上について考える子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさや喜びを味わうことができる ・運動や健康について自己の課題を解決しようとする ・仲間と協力して課題解決に向けて工夫することができる
学びに向かう力・人間性等の涵養 学びを人生や社会に生かせる	<p>○学びを工夫する子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで読書をし、自分の考えを広げようとする ・学んだことを大切にして、広げていこうとする ・話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができる 	<p>○素直(誠実)に行動する子</p> <ul style="list-style-type: none"> ●集団の一員としての自覚をもって行動することができる <p style="text-align: right;">← R4年度の重点</p> 	<p>○体をきたえる子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己課題を振り返り、計画的に運動することができる ・健康に関心をもち、その保持増進に努めることができる 

児童の学ぶ姿の具体

〈率先垂範〉 → 「だれ一人取り残さない授業に向けて」 ← 〈学び続ける教師〉



【各教科】 【特別の教科 道徳】 【外国語活動】 【総合的な学習の時間】 【特別活動】

●**相手の気持ちや考えを思いやり、自分と異なる個性を受け入れ認められる子どもの育成** ← R4年度の重点

情報の発信・受信 P(Plan) D(Do) C(Check) A(Action) の共

〈家庭との連携〉

〈保護者〉

- ・参観日、個人(保護者)懇談、家庭訪問、行事参加
- ・スキー協力、水泳協力
- ・保護者アンケート、生活リズムチェックシート

【家庭教育に向けた連携】

☆子どもの話への傾聴、努力への称賛、安全への声かけ

- 1 挨拶や社会的ルールの徹底
- 2 望ましい生活習慣の形成(早寝・早起き・朝ごはん)
- 3 家庭学習や読書への環境設定及び習慣形成
- 4 テレビ・ゲームの時間設定及び点検
- 5 家庭での役割(お手伝い)の明確化

〈PTA〉

- ・保護者間連携の構築
- ・運動会、学芸会、冬を楽しむ集い等への協力
- ・地域行事への参加協力(アイスキャンドル・ミュージアム)

〈地域との連携〉

〈コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)〉

- ・経営方針の承認、学校運営及び教育活動への意見等
- ・学校評価を受けての意見等(地域学校協働本部との連携)

〈地域ボランティア〉〈NPO 森の生活〉

- ・安全見守り、環境整備、読み聞かせ、体力測定、雪山造成
- ・ほんわか教室(総合:講師)
- ・森林学習 総合的な学習の時間(講師:森の生活)

〈地域の教育資源〉

- ・社会見学、校外学習(工場、店舗、公共施設等)
- ・クラブ活動(地域人材講師)、学びの広場(社会教育講師)
- ・交通安全教室、防犯教室、避難訓練、薬物乱用防止教室、情報モラル教室、租税教室、人権教室(関係機関・団体講師)
- ・地域行事(鼓笛〜うどん祭り、4年音楽〜町文化祭、生活・総合〜アイスキャンドル)
- ・地域応募作品(いじめ標語・絵画等)への取組
- ※児童室との連携、社会教育との関連

- 18 -

〈校種間の接続〉

〈こども園〉

- ・アプローチとスタート両面での接続(指導者間連携)
- ・学芸会児童公開日への招待
- ・低学年生活科「おもちゃ大会」への招待(交流学習)
- ・中学年総合的な学習での訪問(交流学習)
- ・一日入学(1年生との交流学習)

〈中学校〉

- ・町教研での授業交流(参観日・町教研大会等)
- ・町教研による小中連携推進(教務、研修、生徒指導、事務)
- ・乗り入れ授業の実施(外国語科他)
- ・特別支援学級の交流学習

〈特別支援学校〉

- ・パートナーティーチャー要請訪問・助言

〈商業高校〉

- ・創作手延べ麺試食体験